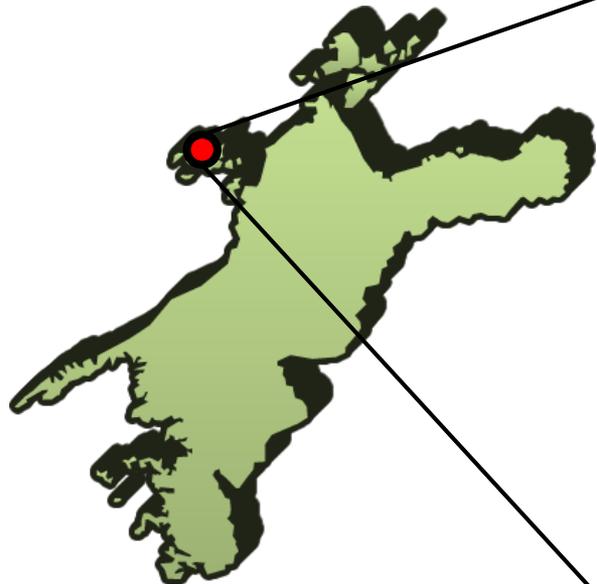


愛媛県松山市 中島地区



平成30年11月5日
最新科学×津波×地域防災

中島地区の概要



- ✓人口: 3,785人, 高齢化率: 65.4% (2018.4.1現在) **※松山市で最大の高齢化率**
 - ✓忽那諸島6つの島に分かれている
 - ✓農業、漁業が主な産業
 - ✓指定避難所の多くが浸水区域
 - ✓想定災害: **地震津波・土砂災害**
- 今年度の地区防災計画のテーマ
地震・津波の避難計画の作成!
- 平成29年11月に地区防災計画を作成

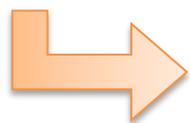


地形と津波リスク

☑前面は海、背面は山

島内は平地が少なく沿岸部に集中し、指定避難所のほとんどが津波の浸水想定区域にある。また、山間部は多くの土砂災害危険区域が存在する。

※7月豪雨の土砂災害で死者3名



指定避難所以外に一時避難所を設ける。(土砂危険を考慮)

☑津波想定

中島港 3.1m

到達時間

(1m以上の津波)

約2時間

【参考】

松山市最大

興居島由良港

3.9m



📍 指定避難所

- (1)津波浸水想定区域、土砂災害危険箇所を考慮した一時避難場所、避難経路の検討
住民が安心して避難できる経路・場所の確保が必要。
住民に早期避難を促す必要がある
- (2)避難行動要支援者の対応
一人で避難できない人をどう支援するか。高齢者が多いため、協力体制を強化する必要がある
- (3)世帯別の避難行動の確認と周知
世帯ごとの避難カルテを作成し、各自が確認するとともに、地区内で活用できる情報として収集

地区の特性に即した実行性のある計画の策定

津波避難計画作成の取組



《30年度》

- ・第1回 地区会議(7/10) ※中止
- ・第1回 地区代表者会議(8/6)
- ・第2回 地区会議(9/3)
- ・中島東地区訓練(9/8)
- ・中島西地区訓練(9/9) ※中止
- ・中島陸野地区訓練(9/30) ※中止
- ・第3回 地区会議(10/5)
- ・怒和島訓練(10/11)
- ・津和地島訓練(10/31)

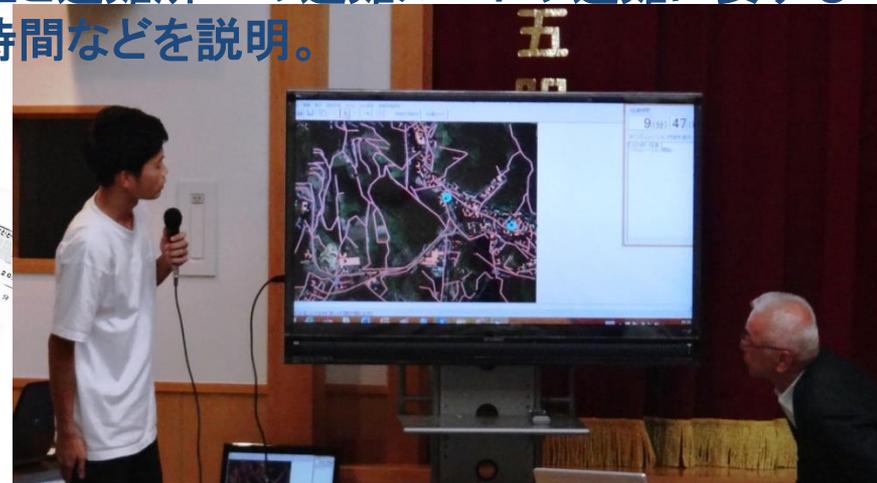
地区会議では、地区総代などが参加
地区防災計画で津波対策の詳細記載がない



まずは命を守るための津波避難計画を作成
避難カルテを全世帯で作成して地域で共有



愛媛大学防災情報研究センター二神副センター長が作成した「津波避難シミュレータ」を用いて、大学生防災士が住民に津波の危険性と避難所への避難ルートや避難に要する時間などを説明。



H30. 09. 08

中島東地区 防災訓練



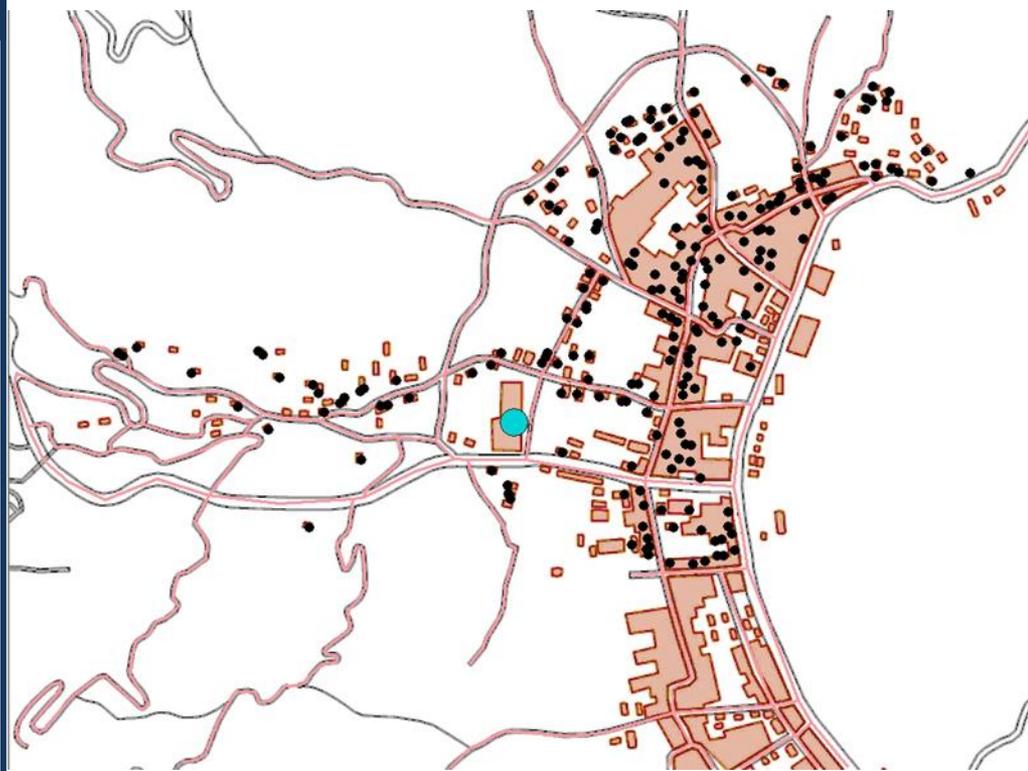
あいにくの雨にも関わらず約500人が参加。消防団や女性防火クラブ、大学生なども参加し、地域ぐるみで訓練を実施。避難カルテを配布して避難ルートとルート周辺の危険箇所等を検証。



津波避難シミュレータ

津波避難シミュレータとは

- 津波の浸水と重ね合わせて避難状況が視聴可能
- 避難経路, 避難所を設定し, 避難するタイミング, 避難速度などを設定可能
- 津波の発生時刻が設定可能
- 通行障害も設定可能



住民の避難カルテから避難経路・避難場所を設定。津波の浸水も重ね合わせる
↓
地区ごとに作成し配布

住民の避難ルート、時間等を可視化することで、より現実に近い避難リスク等を検証

今後の取組と課題

《30年度》

- ・二神島訓練(11/16)
- ・第4回 地区会議(12月予定) ※全島のカルテ作成
- ・第5回 地区会議(3月予定)
※避難シミュレータ全島配布と津波避難計画の作成

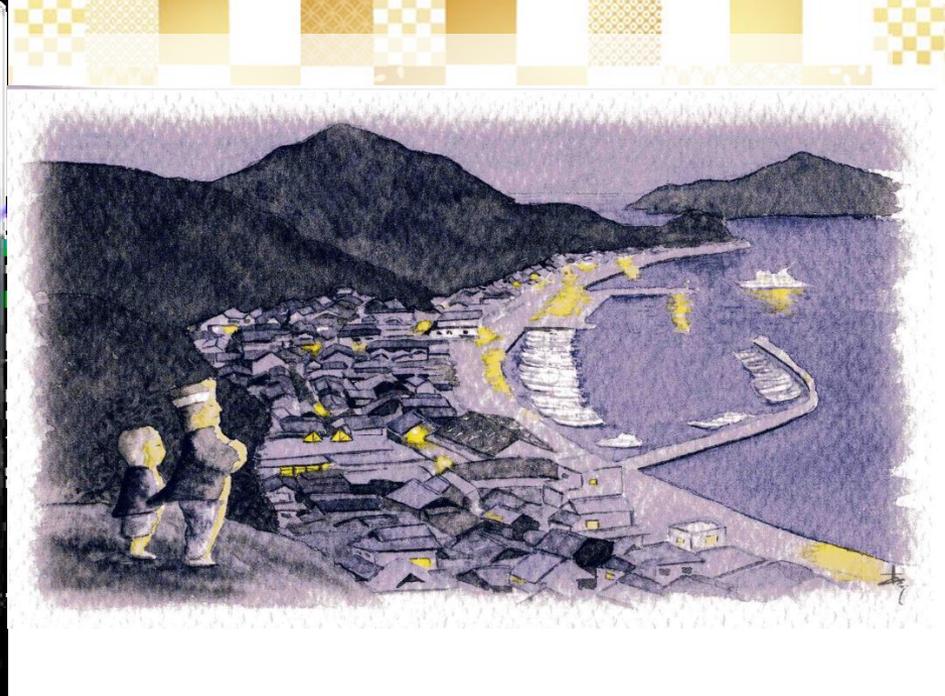
【今年度の成果】

- ◎地域の実情に応じた津波避難計画作成
- ◎全島、全地区の避難カルテ作成と地域での共有
- ◎カルテに基づく避難シミュレータ作成と全地区への配布

※来年度以降の取組

《31年度》

- ・地区防災計画を修正し、津波避難関係を追記
- ・避難カルテに記載の資格や職種情報に基づく
要配慮者等の支援の検討
- ・防災訓練での検証



ご清聴ありがとうございました

